

ふじみ野市リビングラボ 全体会

2022年2月26日


流れ

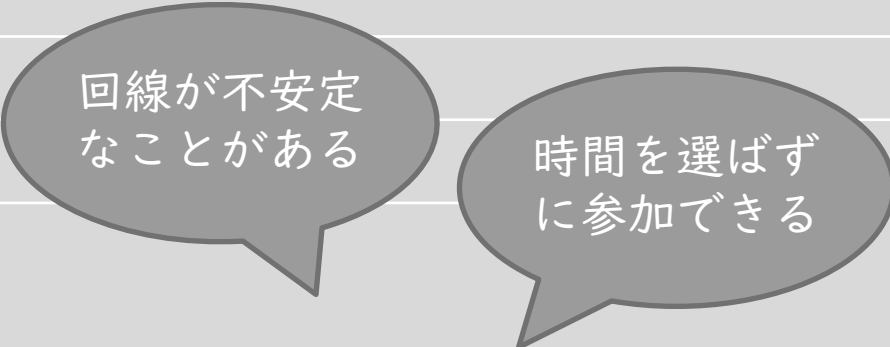
1. あいさつ
2. 前回までの活動のふり返し
3. リビングラボについて(情報提供)
4. プロジェクトごとの活動
5. 全体共有、振り返り、おわりに

(11:30 終了予定)

前回までの活動のふり返し

これまでの活動の流れと位置づけ

2019/1/25	説明会	
4/14	キックオフワークショップ	
5/12	コンセプト創出ワークショップ	
12/1	機能理解ワークショップ	
2020/1/11	事業計画策定ワークショップ	
中断		
2021/3/28	ステラ・イーストの余白発見ツアー	
6/12	アイデア具体化ワークショップ	
7/10, 8/28	各チームごとの議論	
9/5, 10/3		
11/13, 12/18		
1/22		(オンラインとステラ・イーストのハイブリッド開催)
目標	ステラ・イーストを中心とした市内の課題発見・解決に向けた持続的な活動	



前回まで:3つのチームごとの議論

目的: 各活動の活動の具体化

結果: 具体的活動の検討(経過)

- 情報発信
 - 情報源の洗い出し
 - 有効な情報経路の調査
- つながりづくり
 - 食のイベント(例えば、若者にウケそうなおしゃれな焚火イベント)
 - 小林さん(ふじみ野市在住)と連携したふじみ野市に根付いた料理教室
- アート活動
 - 動画を見るための教室開催(例えば、QRコードの読み方、Wifiの繋げ方)
 - アートフェスタ動画鑑賞イベントの検討

リビングラボの情報提供 第四回：三回のまとめ

勉強会の背景



「リビングラボ」に参加しているけど、リビングラボって実際どういうものだろう？

「リビングラボ」ってどういう背景から生まれて、誰がやっているんだろう？

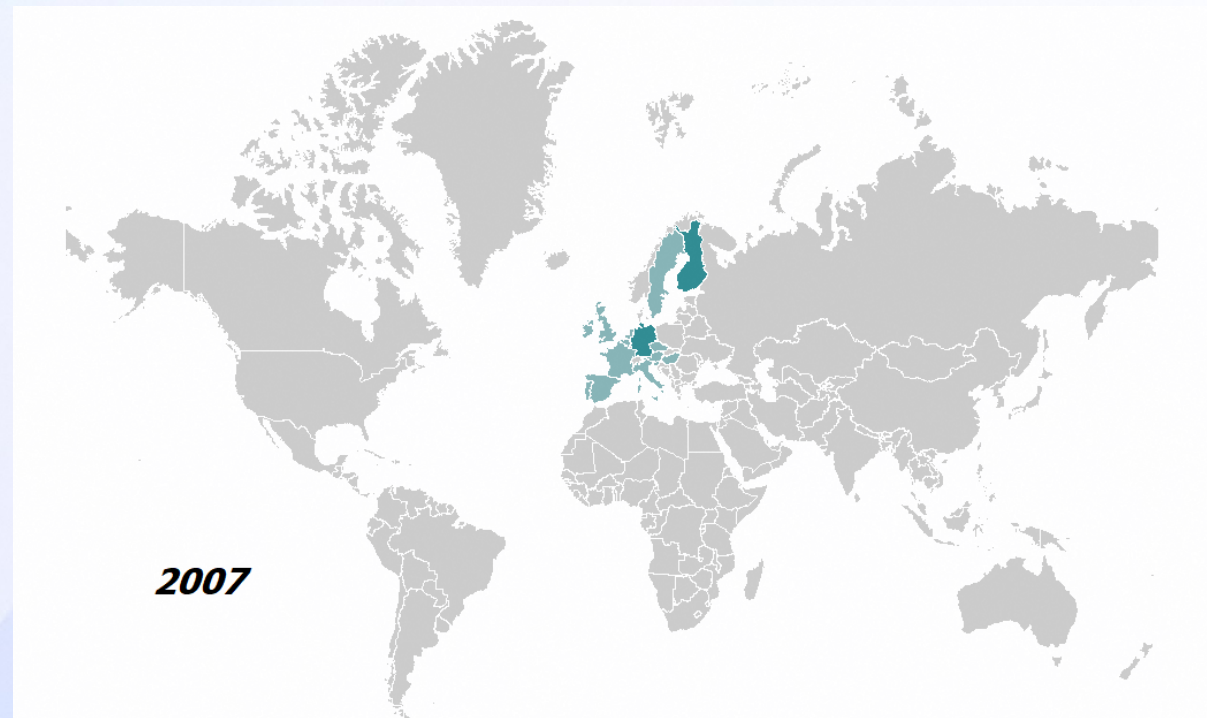
「リビングラボ」に参加しているものの、いざ他の人に説明しようとするとなかなか難しい。

リビングラボについての 情報提供

第一回：歴史的背景

リビングラボの歴史的背景

- 元々は1990年代にアメリカで生まれた概念
- その後、アメリカよりもヨーロッパで活発化
- 特に2000年代になり、北欧で急速に発展
- 現在ではヨーロッパを中心に約500のリビングラボが存在（日本での事例は数十程度）



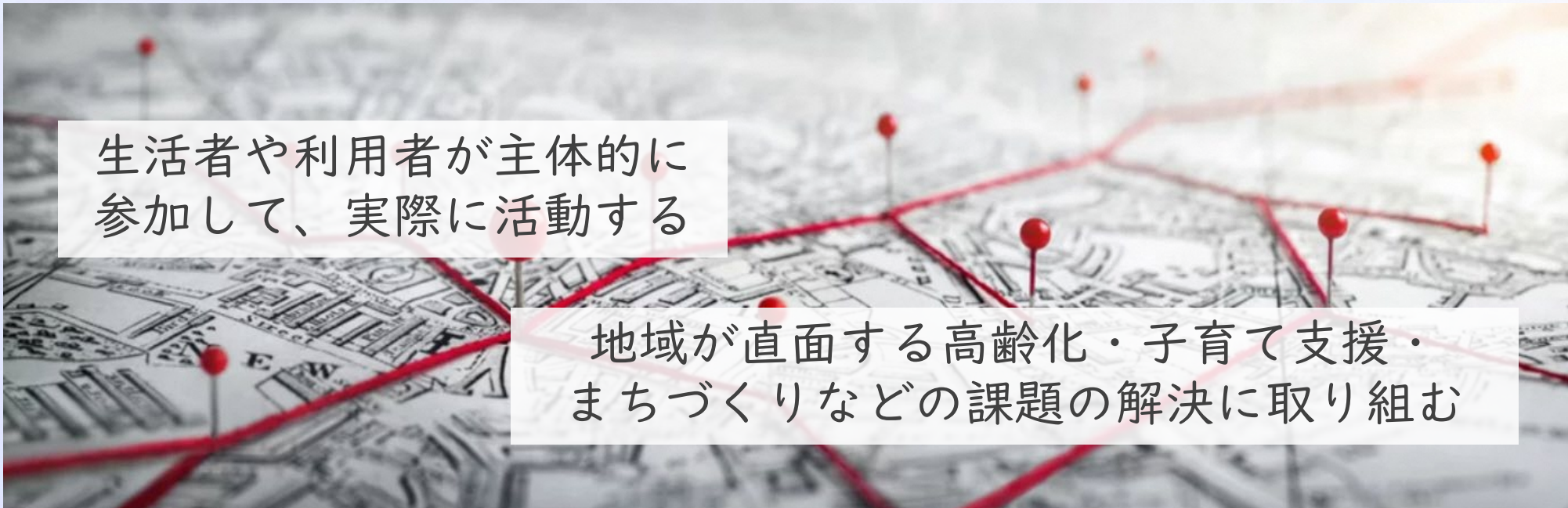
ENoLL（ヨーロッパリビングラボ協会）に登録されているリビングラボの分布

<https://enoll.org/>

リビングラボとは？

多様な参加者が集う場で、長期的視点で地域経済と社会の活性化を推進していくための仕組み。またはその活動拠点。

「日常的な生活空間 (Living) が実験室 (Lab)」



生活者や利用者が主体的に
参加して、実際に活動する

地域が直面する高齢化・子育て支援・
まちづくりなどの課題の解決に取り組む

リビングラボについての
情報提供
第二回：効果と利点

リビングラボの効果と利点

利用者や市民



- 地域に関する活動に参加するきっかけになる。
- 市民同士の交流が増える。
- 地域の問題に対する自分の意見を伝えることができる。

行政



- 行政だけでは認識が難しい問題が明確になる。
- 市民や企業との提携による、コストの削減や人材不足の解消。

企業



- 従来の市場調査と比べて利用者との関係が深まる。
- 把握できていなかった潜在的なニーズを発掘できる。

リビングラボの効果と利点

利用者や市民



- 地域に関する活動に参加するきっかけになる。
- 市民同士の交流が増える。
- 地域の問題に対する自分の意見を伝えることができる。

行政



- 行政だけでは認識が難しい問題が明確になる。
- 市民や企業との提携による、コストの削減や人材不足の解消。

企業



- 従来の市場調査と比べて利用者との関係が深まる。
- 把握できていなかった潜在的なニーズを発掘できる。

リビングラボの課題

- 関係者が多いため結論がまとまりづらい
- 必ず革新的な成果が得られるとは限らない
- 多様で意識の高い市民の参加促進が必要



リビングラボの情報提供 第三回：国内外の事例

国内外の事例①: 北欧の例

Give and Take

仕事・趣味などに意欲的で活発な高齢者（アクティブシニア）が地域で共有して使うサービスを創出する

Neighborhood LL

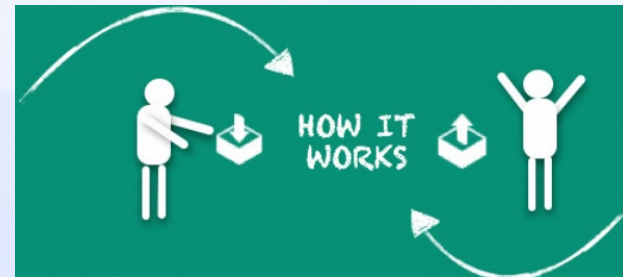
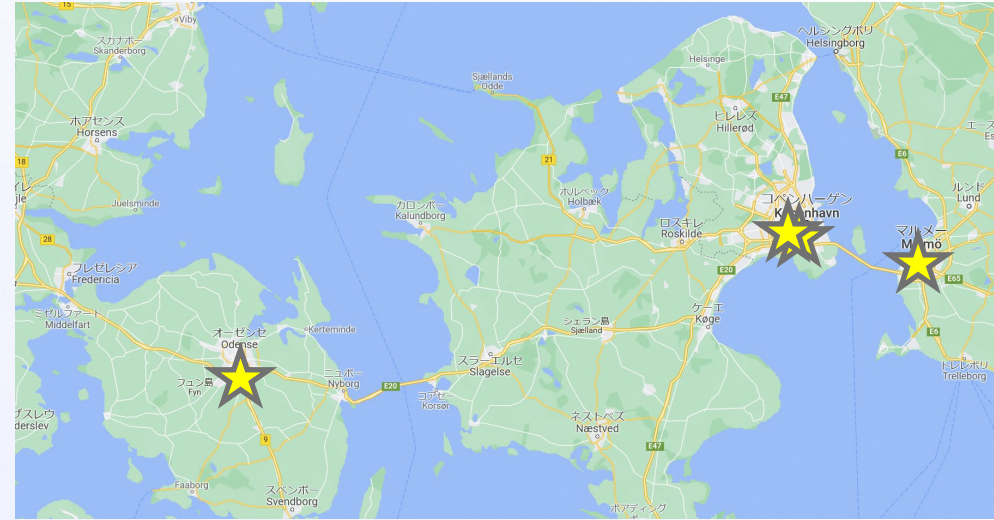
移民の方々がより良い生活を送れる環境を検討する

E-Health City

健康管理の革新的な方法論（ヘルスケアイノベーション）を体系化する

Health Innovation Center

新たに設立する超大型病院における新たな医療設備やサービスを創出する



国内外の事例②：日本の例

みんラボ

地域住民のボランティアの方に検証実験や議論に参加してもらい、モノの使いやすさを高める

信州リビング・ラボ

「健康生活」と「防災減災」について、人々が自由に集まり、一緒に考えることができる環境を構築する

鎌倉リビング・ラボ

商品の試作品や新商品を、地域住民の方に実際に使ってもらう、テストや調査、意見収集を行う

ふじみ野リビングラボ



プロジェクトごとの活動 (目安:11:15まで)

全体共有

リビングラボと3つのプロジェクト

将来的にはプロジェクトごとに活動が進んでいく予定です
「なんとなく興味がある」プロジェクトにもぜひ参加してみてください

